

# 桜区防災ニュース

第30号（令和5年4月）

桜区自主防災会

<https://sakuraku.org>



桜地区の皆様、今年度も共助のまちづくり・防災をよろしくお願いたします。  
今回は、刈谷防災ボランティア、桜/高津波地区自主防災会、赤十字奉仕団が連携して今年2月に実施した、刈谷東中学校3年生の防災体験学習で、好評だった「災害時のトイレ」について紹介いたします。

災害発生時には、断水や下水道管の破損により、トイレが使えないという大きな問題が発生します。そのような場合、刈谷市からも避難所や公園の公衆トイレを含め全トイレの使用禁止という通達が出されることになっています。そんな状況下においては、洋式便器に袋を被せて排泄物を袋で固めて捨てる簡易トイレ化が有効です。加えて、ニオイ防止や衛生面をしっかり対策することにより、ストレスの多い避難生活の負担を軽くすることができます。

## 簡易トイレ化の手順



- ① 1枚目（下地ビニール袋）を被せる
- ② ①の下部をテープで止める
- ③ 2枚目ビニール袋を被せる
- ④ トイレを使用、消臭凝固剤を入れる
- ⑤ 2枚目ビニール袋を取出す
- ⑥ ビニール袋の上部を縛る
- ⑦ 市指定家庭用ゴミ袋に入れる
- ⑧ 燃えるゴミに出す

\* 1 2枚目ビニール袋は便座の上でも下でも構いません。

\* 2 1枚目2枚目ビニール袋は市指定家庭用ゴミ袋でも良いです。

## 併せて準備が必要な物

汚物入れ、ゴミ入れ、消毒液、ウエットティッシュ、  
など



## 洋式便器が使えない場合には

段ボール製簡易トイレ

プラスチック製簡易トイレ

ペール缶簡易トイレ

折りたたみ式簡易トイレ



などで代用して、「簡易トイレ化の手順」と同じ手順で行う。

## トイレ用品の備蓄を

食料、飲料水とともにトイレ用品を備蓄しておきましょう。

ビニール袋、新聞紙、消臭・凝固剤など

目安は5回×7日分×人数分 です。

また、携帯トイレを備蓄しておく、災害時だけでなく、渋滞時の車内やキャンプなどでも便利に使えます。

